

## 2. 調査分析（相談部門および留学生課）

### 問1. 入学前の資金計画について

Q1の表からわかるように、奨学金だけで100%資金計画をたてようとしていた学生が42名いた。そして、自己資金だけでは到底生計を立てられないと考えていた学生は77名である。また、アルバイトで100%生計を立てようとしていた学生はわずか4名である。この最初の表の見方は、例えば、「60%の件数」のアルバイト4はアルバイトが60%を占め、あとの40%が自己資金、奨学金、その他に入ると見る。

その他の内訳は「借金をする」、「授業料免除を受ける」としている学生もいる。Q2で入学後の支出計画が大きく変わったと答えた学生は20名おり、その理由は「奨学金がもらえなかった」ことである。奨学金がもらえないとなると、当然アルバイトをする必要性が出てくるが、しかしQ3では、「アルバイトをする時間がない」と答えた学生が16名いた。

本学には留学生宿舍（国際交流会館、小平国際学生宿舍）があるので住居の問題はかなり改善されているとは言え、すべての希望者が入れるわけではなく、またこれらの宿舍には現状では2年間しか入居できないので、宿舍問題を抱える留学生は少なくない。Q3の「家賃が高い」ということも入学後の支出計画の変更をもたらしている。Q3で16名の学生が「家賃が高い」と答えた。

本学の留学生は他大学に比べると、奨学金をもらっている学生は比較的多い。私費留学生はJASSO（日本学生支援機構、元AIEJ）の奨学金、またその選考に漏れた学生は本学の同窓会「如水会」から奨学金をもらっているケースが多い。しかし、ここ数年、大学院生が大幅に増え、奨学金を受けられない学生、または授業料免除も受けられない学生が増えてきた。今後も留学生が増える傾向にあるため、財政的に苦しくなる学生がますます増えるであろう。

本学には「留学生相談室」があり、月曜日から金曜日まで、午前中 10 時から 1 時まで、午後は 2 時から 5 時まで、さまざまな留学生の相談に応じているが 5 月と 10 月の上旬は経済的に困窮しているという悩みを持つ学生が駆け込んでくるのが現状である。

「その他」の自由記述をみても、やはり「家賃が高い」と回答する学生が多い。一橋大学周辺地域は家賃が比較的高いのは事実である。しかし、大学から離れた場所に住んだ場合、今度は交通費の負担が大きい。

また、奨学金を受給している学生も奨学金だけでは生計がなりたないと答えている。経済的不足を補うためアルバイトを希望する学生がほとんどだが、学業が忙しくなかなかアルバイトができない。

今後の対応として、一橋大学受験を希望する学生や入学前の学生に、奨学金の受給状況ならびに奨学金に 100%頼った資金計画では入学できないこと、アパートの家賃に関する情報などについて事前に知らせることが必要であろう。ホームページにこれらの対象者に向けたコーナーをつくることも考えられる。

**Q1. 本学に入学する前に、学費・生活費を支出するための収入の計画は次のどれで、それぞれの比率を記入して、合計が 100%になるようにしてください。**

	自己資金	アルバイト	奨学金	その他
100%の件数	2	4	42	0
90%の件数	1	0	8	0
80%の件数	1	4	9	0
70%の件数	0	1	8	0
60%の件数	1	4	7	0
50%の件数	6	16	13	1
40%の件数	2	9	7	0
30%の件数	2	9	7	0
20%の件数	11	10	2	0
10%の件数	13	9	3	2
0%の件数	77	57	15	116
平均値	11.63636	22.2314	65.01653	1.115702

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 自己資金(貯金・仕送りなど) %	44	9	18	7	6	4
2. アルバイト %	64	17	28	16	1	2
3. 奨学金 %	106	32	30	21	16	7
4. その他(具体的に) %	5	1	3	0	0	1

その他の内訳

借金
授業料免除
I was instructed by the embassy to bring money at least 1000 dollar for starting
学費はすべて国のローンで払いました。
書いたのは、日本に来る前の、自国のことです。今回、国費留学生として日本にきました。
両親のサポート
夫の給料より
専門は言語社会学で、言葉を教えることが好きということもありまして、アルバイトとして母語を教えることもあります。

**Q2. 入学後の支出計画に、大きく変更になった事項がありますか？**

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. ない	62	16	17	13	11	5
2. ある	57	16	22	11	6	2

**Q3. Q2. で「2.ある」と答えた方に質問します。変更になったのはなぜですか。**

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 家賃が高い	16	6	5	1	4	0
2. 食費が高い	1	0	0	0	0	1
3. 扶養家族が増えた	1	0	0	0	1	0
4. 奨学金がもらえない	20	5	8	7	0	0
5. アルバイトがみつからない	2	0	2	0	0	0
6. アルバイトをする時間がない	16	3	7	4	2	0
7. 家族からの仕送りがない	1	1	0	0	0	0
8. その他	6	2	0	2	2	0

「その他」の記述

- ・アルバイトする時間がない。
- ・奨学金がもらえても、低いので、高い家賃と生活費でほぼ使い切れますし、学業の忙しさによって、アルバイトをする時間が少ない。
- ・全てを奨学金で補っています。
- ・The current scholarship takes up a small portion of my total expenses. However, other scholarships which require Japanese language ability are not available.
- ・travel expenses are high (local and long distance as well)
- ・授業料を払わなくてはいけなくなるから
- ・Scholarship was reduced. Cost of living (apart from food and lodging) are very high.
- ・家賃が高い、アルバイトをする時間がない
- ・日本語学校で勉強していたときと比べて、生活費がかなり増えました。やはり、日本語学校にいたときほとんど勉強していて、あまり遊ばなかったからでしょうか。大学入学以来、けっこう遊ぶようになり、奨学金もぎりぎりです。
- ・授業料免除が思ったより難しかったから
- ・transportation costs
- ・I was placed in an expensive apartment for 12 months because I am a student of Tokyo Gakugei and there were too many scholars who arrived so I had a very hard time budgetting considering that the prices of goods are also expensive but now I am happy that I am now transferred here in Hitotsubashi Dorm

**問2. 入学時オリエンテーションについて**

オリエンテーションについては、Q4で「全部理解できた」と「ほとんど理解できた」を合わせると有効回答の90%を超える。ただし、院生(修士)以外は「全部理解できた」より「ほとんど理解できた」の方が多い。院生(博士)できちんとオリエンテーションに出席する留学生は他大学からの進学者が多いと思われる。内部進学者は同じ大学院の中での進学のため、オリエンテーションに出席する必要はないと判断するものが多いからである。それに比して院生(修士)では、内部進学者であっても、学部課程から大学院課程に上がるということで出席率が高いと思われる(内部、外部を問わず全体的な出席率は修士が博士より高い)。よって、院生(博士)では、本学の事情を予めわかっているものが院生(修士)より少ないため、「ほとんど理解できた」の方が多かったのではないかと推測する。学部生については、回答者の40%強が国費留学生であり、それらの学生は入学時において、1年間の日本語予備教育を修了したばかりで日

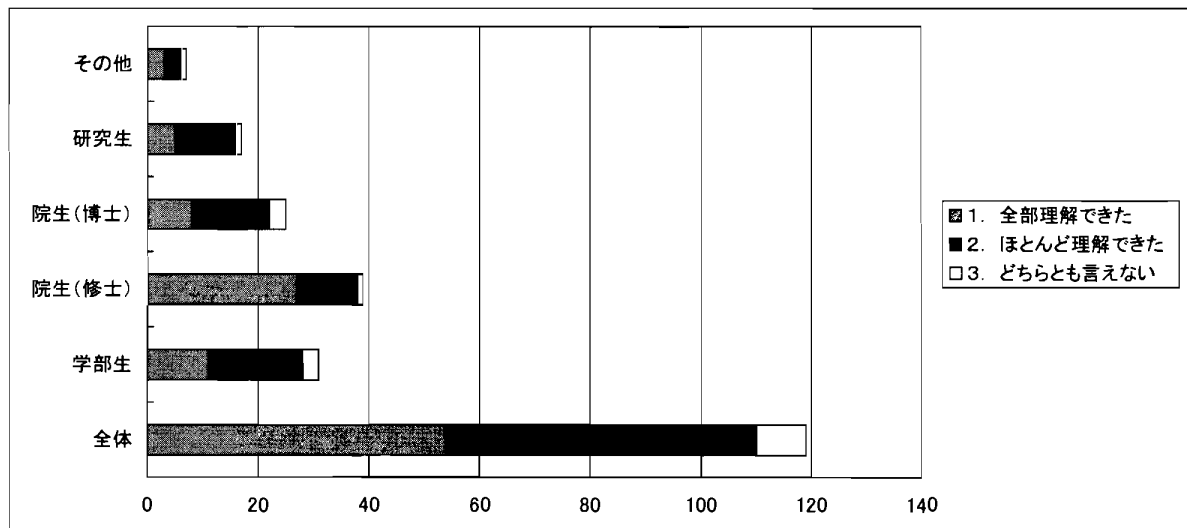
本語力が十分でないために「ほとんど理解できた」の方が多かったと思われる。

オリエンテーションをもっと有益なものにするためには、どのような改善点が必要かというQ5では、「最小限必要な情報にしぼる」というのが一番多かった（全体の約23%）。特に学部生と院生（修士）において顕著であった。これは学部生にあっては、日本語学校や日本語予備教育機関、また院生（修士）にあっては、国内の大学の学部課程卒業や研究生を経て、入学している者が多いために、渡日時に受けたオリエンテーションと重なるような基礎的な事項については、今さら必要ないということの反映だろうか（オリエンテーションの内容が彼らにとっては少しくどかったのかもしれない）。ただし、これが院生（博士）では少ないのが興味深い。Q4と同様にオリエンテーションの出席傾向と関係があるのかもしれない。次に多いのが「説明をもっと工夫する」（院生（博士）では最も多いものの一つ）であるが、この選択肢の内容が具体的でないため、どのような工夫が望ましいのかを知るためには、今後の聞き取り調査に委ねるしかないが、これまでのオリエンテーションを振り返ってみると、パワーポイントや実物投影機、ビデオなどのIT、視聴覚機器が十分に活用されてないという実態があり、この点から説明の仕方を工夫する余地があるのではないだろうか。「話し方（言葉や言い方）をわかりやすくする」というのも学部生と院生（博士）では多かった。学部生については、Q4と同様に国費留学生の日本語力が十分でないため、オリエンテーション担当者が話し方を工夫する必要がある。院生（博士）については、院生（修士）と対照的な結果（院生（修士）では、1名のみ）となったが、これはQ4における「全部理解できた」がそれほど多くないことと関係しているのではないかと思う。

「その他」の記述のところでオリエンテーションがいつ実施されたかわからなかった、出席したか覚えていないようなコメントがあった。これは新入留学生の来日の遅れ、オリエンテーション案内がきちんと届いていなかった、あるいは届いていたとしても遅すぎて、オリエンテーションまでに大学にこられなかったなどの理由が考えられる。

#### Q4. 入学時のオリエンテーションの内容は理解できましたか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 全部理解できた	54	11	27	8	5	3
2. ほとんど理解できた	56	17	11	14	11	3
3. どちらとも言えない	9	3	1	3	1	1
4. ほとんど理解できなかった	1	1	0	0	0	0
5. 全く理解できなかった	0	0	0	0	0	0



Q5. 今のオリエンテーションをもっと有益なものにするために、どのような改善が必要でしょうか。口の中にいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 説明はもっとゆっくり話す	17	8	1	1	5	2
2. 話し方(言葉や言い方)をわかりやすくする	20	8	1	10	1	0
3. 説明をもっと工夫する	28	7	8	10	3	0
4. ハンドアウトをもっとわかりやすいものにする	16	3	3	5	2	3
5. 最小限必要な情報にしぼる	41	12	18	3	7	1
6. ゆっくり時間をとって、いろいろな情報をもりこむ たとえばどのような情報ですか	13	1	5	3	3	1
7. 大学紹介のビデオはいらない	7	3	3	0	0	1
8. 質疑応答の時間をもっととる	17	7	5	2	3	0
9. 中国語や韓国語のハンドアウトをつくる	11	0	4	5	2	0
10. その他	9	6	1	0	2	0

「その他」の記述

- What orientation program?!?!?! I do not remember having attended any orientation program!!!
- Those courses which are held in English should be highlighted in the "pink book"
- 特にない
- 奨学金の情報など、具体的にどんな状況である人にどんな奨学金を申請すればもらえる可能性があるとか。
- 満足しました。
- 今までのままで十分いいと思う。
- 私自身はオリエンテーションがいつだったのかわからずに、出なかったのです。あまり全体的なこと話さずに、入学の時だけ必要なことを教えていただければいいと思います
- 卒業後の就職方法とか
- けっこうよかったので、改善する必要はない。
- some fo the information is not really needed and also it takes times to join. I don't think the orientation is required for all students. some guide books would be o.k. i hope it is not obligatory.
- モンゴル語のハンドアウトを作る
- 1. アパート 2. 奨学金 3. アルバイトなどの探し方などの色々な情報を含んだハンドアウトを英語と日本語でつくる
- 日本語の各授業について、もうちょっと具体的に説明していただければと思います。留学生にとって、日本語の授業はけっこう大事なので、誤解がないように心がけてくださればいいのですし、また日本語の授業がかなり重要であることを留学生の私たちにわからせてくださればありがたいと思います。
- it was good but just quite long. examples were very helpful but must be concise.
- No problem because there were staffs who could speak English and they were very approachable
- パソコンの使用など。

### 問3.『留学生ハンドブック』について

『留学生ハンドブック』は「たまに利用する」が圧倒的に多かった。「全く利用しない」学生も35名いた。そしてもっとも有益なものにするためにはどのような改善が必要かというQ7では、「引越しの仕方についてののせる」が一番多く、順に「ゼミについての情報」、「ビザについての情報」、「地域の外国人相談窓口のリスト」、「病気やけが等」、「家族の呼び寄せについての情報」が求められている。

実際、ハンドブックの中にそれらにあたる情報を掲載しているが、あまりハンドブックを見ないせいか、情報が伝わっていないと考えられる。まずは、ハンドブックを見ることを学生に徹底させること、そして、より見やすくなるようハンドブックの再構成も検討する必要があるかもしれない。しかし、学生が最も知りたい「引越しの仕方」については全く掲載していないため、これは今後の課題である。また、第2に多数を占めた「ゼミについての情報」に関しては、便覧や各学部・研究科の講義要綱の該当箇所を掲載するなどの対応が適当であろう。

その他のコメントには、奨学金や就職に関する情報記載への希望が散見されることから、ホームページを利用した詳細な情報提供も考えていかなければならない。一般的に「ハンドブック」というものは、なるべく薄く、持ち運びに便利にするほうがよく利用されると考えられるため、情報収集の手助けとして、今後は有用なホームページに関しては可能な範囲で掲載していく方向を考える必要がある。

#### Q6. あなたは『留学生ハンドブック』を利用していますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. よく利用する	14	3	4	3	2	2
2. たまに利用する	70	15	24	14	12	5
3. 全く利用しない	35	15	10	7	3	0

#### Q7. 『留学生ハンドブック』をもっとも有益なものにするために、どのような改善が必要でしょうか。口の中に入れてもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. ビザについての情報をもっとのせる	43	9	15	14	3	2
2. 家族の呼び寄せについての情報をのせる	33	9	10	9	4	1
3. ゴミの分別回収についての情報をのせる	13	5	2	4	2	0
4. ゼミについての情報をのせる	50	19	16	7	5	3
5. 日本語をもっとやさしくする	11	2	1	1	6	1
6. 日本語と英語以外の言語ものせる	8	2	3	2	0	1
7. 写真や図表を多くつけてわかりやすくする	19	8	5	3	2	1
8. 子供の出産や入園・入学についてののせる	13	2	6	2	3	0
9. 病気やけが等、健康についてもっとのせる	35	9	11	8	5	2
10. 引越しの仕方についてののせる	58	14	19	13	8	4
11. 日本語・日本事情科目の履修方法についてもっとのせる	30	9	8	4	7	2
12. 地域の外国人相談窓口等のリストをのせる	39	8	13	9	6	3
13. その他	9	3	4	0	1	1

「その他」の自由記述

- ・奨学金の情報を載せてほしいです。
- ・特にない
- ・一番新しいものを作る。例えば今年の配ったハンドブックは2003に作ったものではなかった。古いハンドブックに修正を挟んだもので、見るのはたいへん面倒くさかった。
- ・利用しないため答え様がない
- ・In ICS, we are not distributed any International Student Handbook.
- ・奨学金の紹介を乗せること。
- ・Information is sufficient. Reading it once is enough.
- ・日本において外国人に関わるさまざまな活動を行っているNGO・NPOの紹介を載せればよいと思います。
- ・留学生ハンドブックがあることを宣伝してください
- ・就職の情報をのせる

#### 問4. 大学のホームページについて

Q8からみると、入学前に「大学のホームページ」にアクセスした学生は99名（回答者の約82%）いた。その内訳は修士の学生が一番多く36名だった。全体的にホームページは活用されていると言えるのではないだろうか。

これは、修士の学生が受験先を決めるのに大学のホームページを活用することが多いためであろう。しかし、入学後にホームページがあまり活用されているとは言えない。「留学生センター」のホームページも同様、「たまにアクセスする」が一番多かった。これは、入学直後のオリエンテーションで学生に、「来校時にまずは掲示板をみること」を強調していることから、学生はあまり留学生センターのホームページを見ないという可能性も考えられる。また、以前は留学生センターの情報更新が遅かったため、情報源としてあまり利用されなかったことも要因の一つであったと考えられる。

また、Q11の質問では「新着情報を定期的に掲載する」がやはり一番多く、順に「イベント情報を加える」、「地域の情報を掲載する」、「入学案内を掲載する」とある。現在、留学生センターおよび留学生課のホームページは頻繁に更新されており、そのことを知らない学生がまだ多いと考えられる。これは、今後入学オリエンテーション時に周知徹底すべきであろう。掲示板でのお知らせのほうが時間的には少し早いですが、キャンパスが離れている国際企業戦略コースで学ぶ学生にとってはホームページからの情報は必要不可欠である。今後のオリエンテーションでは情報源としてのホームページの重要性を強調していく必要があると考えられる。またイベント情報を追加しさらにホームページの充実を図る必要があるであろう。下記の自由記述を見ると、「奨学金の情報を掲載してほしい」という要望が目につく。奨学金の情報は最初に留学生課に通達されることを考慮すると、留学生課のリンクをフロントページにはるだけではなく、「奨学金情報」として独立した形で、情報を掲載していきたいと思う。こうすることにより、留学生課とのさらなるタイアップにつながると考えられる上、留学生たちからの要望にこたえることができるのではないだろうか。また、宿舎に関する情報も同様に、逐次掲載してゆける形をとりたいと思う。

Q8. あなたは一橋大学入学前に一橋大学のホームページにアクセスしたことがありますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. はい	99	23	36	17	16	7
2. いいえ	21	10	2	8	1	0

Q9. あなたは現在大学のホームページにアクセスしていますか。チェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. よくアクセスする	48	13	21	9	4	1
2. たまにアクセスする	64	16	16	16	11	5
3. 全くアクセスしない	7	3	1	0	2	1

Q10. あなたは留学生センターのホームページにアクセスしますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. よくアクセスする	21	6	8	5	2	0
2. たまにアクセスする	57	9	22	14	9	3
3. 全くアクセスしない	41	17	8	6	6	4

Q11. 留学生センターのホームページを改善するために何が必要だと思いますか。口の中にいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. デザイン・レイアウトを改良し、見やすくする	17	4	5	3	4	1
2. 新着情報を定期的に掲載する	74	19	23	19	7	6
3. イベント情報を加える	48	12	15	9	8	4
4. センター教官紹介を充実する	29	7	10	6	4	2
5. 日本語クラスやセンター関係教官の授業の紹介を掲載する	27	5	9	4	5	4
6. 入学案内を掲載する(特に研究生のため)	33	7	10	5	8	3
7. 地域の情報(イベント、ホストファミリー制度等)を掲載する	34	6	12	9	4	3
8. リンクを増やす	25	8	6	5	3	3
9. 英語, 中国語, 韓国語版をつくる。	10	1	1	4	3	1
10. その他	15	4	7	2	2	0

「その他」の自由記述

- ・アクセスしたことないので、改善するために何が必要かコメントができない。
- ・お知らせ欄をもっと充実していただければと思います。つまり、掲示板よりももっと見やすくして一覧できるような欄がほしいのですが・・・
- ・奨学金や学生寮などの情報をもう少し詳しく説明するものがあれば助かります。
- ・奨学金の情報も掲載していただきたいのです。
- ・奨学金の情報なども掲載すること。
- ・アルバイトや奨学金の情報を随時アップロードしてほしいです。後は募集情報だけではなく、募集の結果も載せてほしいです。例えば、今度の留学生旅行を例にとってみると、募集情報はHPに載せてあるのですが、結果は載っていないようです。それをどうしても改善していただきたいです。
- ・I have never visited that homepage, so I do not know.
- ・よく更新する必要があります。今のホームページのある部分はあまりにも古いもので何年前の情報であります
- ・奨学金の情報も掲載してほしい。
- ・毎日お世話になっている事務の方々の名前までも知らない留学生が大変多い。だから皆さんの写真とお名前をホームページに載せたほうがお互いにいいことではないか。
- ・利用しないため答え様がない
- ・特に、留学生が参加できる地域のイベント情報などを掲載していただきたい。
- ・研究生の人が大学院入学のための殆どの情報を友達や同じ国の人から得ていると言っても過言ではないと思います。そういった一番重要で基本的な情報を留学生課から知ることがあまりないです。それが当



たり前過ぎるからかもしれないんですけど、そういう当たり前のことも気軽に聞けて、変な顔されず答えてもらえたらいいと思います。

- ・最新情報を定期的に掲載することが一番大事だと思います
- ・留学生に必要な情報は何か？それを考えればよろしいのでは。
- ・日本語クラスの情報はもっとも重要だと思います。
- ・十分だと思う
- ・奨学金情報を随時掲示してほしいです。
- ・English version is necessary because although some students could speak Japanese it is very hard to read kanji characters

## 問5. 相談室の利用について

相談室の利用については「たまに利用する」が68人いた。利用度は学部生が一番多い。入学後まだ大学のシステムについての知識が上の学年に比べて少ないためだと考えられる。また、学部1, 2生は指導教員がいないため、奨学金の申請などの推薦書を書くというニーズがある。Q13の満足度についてはおおむね利用者は満足しているようだ。Q14の「全く利用しない」学生は「特に相談する困ったことがない」というのが理由であり、これは学生が大学に適応していることも意味しているのでむしろ好ましいと思われる。

Q15の相談室をもっと有益なものにするために、どのような改善点が必要かという質問に対しては、「もっと相談室のことを広報する」と答えた学生が29名おり、留学生相談室の存在を知らない学生がまだいることを示唆している。と同時に、気軽に相談できる場所として認識されていないとも考えられる。留学生相談室については、オリエンテーションでも紹介しているがさらに周知徹底すべきであろう。次の改善点の「開室時間をもっと増やす」については、おそらく5限目終了時に相談室が開いていないことに不満があるのかもしれない。

相談室の対応が親切ではない場合があるとの指摘にはきちんと対応しなければならない。また、相談員が新人である場合でも知っているべきことは知っていなければならないとの指摘はなかなか厳しい。ただし、自分がまだ知らなくても、わからないという対応ではなく、どこに行くと分かるかというような対応はできると思うのでこれを心がけたい。

相談室のインテリアをもう少しあたたかみのあるものにする工夫をしたい。

Q12. あなたは、今まで留学生相談室(国際研究館2階)をどの程度利用した(行った)ことがありますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. よく利用する	9	7	2	0	0	0
2. たまに利用する	68	22	18	14	9	5
3. 全く利用しない	43	4	18	11	8	2

Q13. Q12. で「1. よく利用する」「2. たまに利用する」と答えた方にお伺います。現在の留学生相談室にどのくらい満足していますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 非常に満足	27	15	6	4	2	0
2. 少し満足	30	7	7	6	6	4
3. どちらとも言えない	16	7	5	2	1	1
4. 少し不満足	3	0	2	1	0	0
5. 非常に不満足	1	0	0	1	0	0

Q14. Q12. で「3. 全く利用しない」と答えた方にお伺いします。全く利用しない理由は何ですか。□の中にくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 相談室の存在を知らなかった	5	1	3	1	0	0
2. 相談室の場所がわからない	3	1	1	1	0	0
3. 特に相談するような困ったことがない	29	3	10	6	8	2
4. 他に相談できる人がいる	9	2	4	2	1	0
5. どんなことを相談するところなのかなど、利用のしかたがわからない	10	1	4	3	2	0
6. 忙しくて相談に行く時間がない	2	0	2	0	0	0
7. カウンセリングを受けるとするのはイメージがよくないので、行きたくない	2	0	1	0	1	0
8. 秘密がもれてしまうのではないかと心配がある	4	1	2	1	0	0
9. 相談員が大学関係者(教員)なのでいやだ	4	1	2	1	0	0
10. その他	2	0	0	2	0	0

Q15. 相談室をもっと有益なものにするために、どのような改善が必要でしょうか。□の中にくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 相談員の対応をもっと親切にする	18	5	8	3	2	0
2. 相談員の知識をもっと高める	18	6	4	4	3	1
3. 開室時間を多くする(現在は月曜日～金曜日の10時～1時、2時～5時の6時間開いています)	27	14	7	2	2	2
4. 開室期間をもっと増やす(現在は、学期開始前1週間から学期期間中開室しています)	14	5	3	5	1	0
5. 心理学の専門のカウンセラーを増やす	19	4	6	6	3	0
6. 中国語・韓国語でカウンセリングできる相談員を入れる	10	2	1	4	3	0
7. 外国人のカウンセラーを入れる	8	1	4	1	1	1
8. もっと相談室のことを広報する	29	7	12	4	5	1
9. その他	11	5	4	1	0	1

「その他」自由記述

- ・ある相談員は結構冷たい。いやな顔を見ますと二度といかないと決めた。
- ・相談すること自体が嫌であるため。

- The housing rent scholarship and the housing situation itself was unclear, we were not provided with adequate information by the CSE and it took a long time to settle all necessary things concerning the housing. Basically, this is not the fault of the ACR, maybe its influence on the CSE is too weak.
- 私たちが困った時に、本当に助けて頂けるかどうか分かりません。本当に信じていいという姿勢を見せてほしい。
- 相談室が開いていても先生方が電話の対応に追われていてあまり相談できない
- 特にない
- 就職の相談を加える
- Some advisor should be more caring, the majority are really nice caring and professional.
- 相談室のインテリアを暖かい雰囲気にする。
- ビザ, 家族の呼び寄せについての知識をもっと高める
- there should be a scheduled time for every student to meet the counselor, at least for the first time (introduction), so they could feel closer to the ACRs, and understand the function of the ACRs.
- 相談室外に置いてある情報集をもっと充実させればいいと思います。
- 新人なので学校や奨学金などに関するをよくわからないという言い訳を言わないでほしい。

## 問6. 個人チューター制度について

個人チューターを利用した学生は77名いた。しかし、利用しなかった学生も42名もいる。利用者の多くはやはり学部1、2年生である（3、4年生は制度上利用できない）。

「利用した」と答えた学生でチューターとうまくいかなかったという理由は「チューターが忙しい」、「チューターと時間があわない」というものが圧倒的である。これはチューターのほうに問題がありそうだ。チューター活動してみたいが、しかし時間がない日本人学生がチューターを申請してくることに問題があるのではないだろうか。日本人学生が申請時にどの程度チューター活動ができるかを事前にはっきり確認をしたほうがよいであろう。だが、申請時には時間があると答えた日本人学生が、実際にチューターを依頼された時には状況が変わっており、チューター活動があまりできなくなっているという可能性もある。

また、チューターを利用しなかった学生の42名中、23名が修士の学生である。その理由は、「必要性がない」、「忙しい」であった。

自由記述にはチューター制度にとっても満足しているとした留学生も多く、年間120時間では短すぎるという意見もあったが、逆にいい加減なチューターが多いと書いている者もいる。やはり人によって大きな差があると言わざるを得ない。チューターオリエンテーションを実施しているが、それでいい加減なチューターを除外することはできない。よくないチューターの場合には、チューターの交代は可能であり、担当者はすぐに対応できるが留学生はチューターに遠慮して交代を申し出ないケースが多い。

また、あえてチューターをつけなかった留学生の理由は以下の自由記述とお子様々である。

### Q16. あなたは個人チューター制度を利用していますか。または、利用したことがありますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 利用した	77	25	14	17	14	7
2. 利用しなかった	42	8	23	8	3	0

Q17. Q16. で「1. 利用した」と答えた方にお伺いします。チューターとうまくいかなかったことがありますか。そういうことがある方は、口の中でその理由に当てはまるものにいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. チューターが不親切である	4	2	1	1	0	0
2. チューターと時間があわない	13	9	0	3	1	0
3. チューターが忙しい	20	8	2	6	3	1
4. チューターが英語ばかり使う	1	0	1	0	0	0
5. チューターがきちんと説明してくれない	5	2	0	2	1	0
6. チューターと相性がよくない	4	1	1	2	0	0
7. 自分の日本語がうまくない	7	2	2	1	2	0
8. 会う約束を自分が守らなかった	2	2	0	0	0	0
9. 会う約束をチューターが守らなかった	2	2	0	0	0	0
10. 専門が違う	8	3	1	1	1	2
11. その他	7	2	3	1	1	0

「その他」の自由記述

- Our schedule did not work together, and our academic levels are far different. so we failed in keeping appointment. Then I changed to a second tutor and things got much better.
- I am fully satisfied with both my tutors. I have benefited very much from Individual Tutor System
- 今まで二人のチューターがいました。最初のチューターは、どちらかというと西洋の人のチューターになりたかったみたいです。口に出してそれを言わなかったが、何となく分かりました。それで、お互いやめることにして、二回目は同じゼミの人に頼みました。本当によかったです。今も感謝しています。
- 非常にいいチューターでした。
- チューターの制度は消してもいい。
- I did not know any Japanese at the start so I was quite reluctant consulting with my tutor. But when I finally did learn Japanese, after almost a year, and when finally I was enjoying and learning a lot from my tutor, her services expired. I do wish the Center take this into consideration. I need a tutor now, but the one year contract with my tutor just is not enough.
- tutoring period financed by the university (or by the ministry?) is limited. Should be provided to all the time spent studying at Japanese universities.
- せっかく給与を払っているのに、留学生課がチューターに対する規制を厳しくするべきではないでしょうか。多くのチューターたちが自分の責任を感じていないか加減な行動をとっていると思います。
- I tried to be independent and do things in my own because I understand that my tutor is also a student like me and so far there was nothing too difficult for me. If I have questions I just use the intercom and call up at the office personnel.
- Tutorial system is a very good program and for the newcomer this is very beneficial

Q18. Q16. で「2. 利用しなかった」と答えた方にお伺いします。チューターを利用しない・しなかった理由は何ですか。口の中にいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. チューター制度を知らなかった	7	0	6	0	1	0
2. 必要がない	19	5	6	7	1	0
3. 忙しい	14	4	6	2	2	0
4. 面倒くさい	6	3	2	1	0	0
5. 日本語があまりできない	0	0	0	0	0	0
6. チューターが英語を話せない	0	0	0	0	0	0
7. その他	4	1	2	1	0	0

「その他」の自由記述

- ・自分自身が利用しなかったが、知り合いに面倒くさいと聞いたのでやめました。また、最後学期論文書きの時に利用するつもりでした。
- ・もうちょっと、後で利用しようと思っていました。
- ・知っているけど、日本はもう大学のときから来ました（5年となった）ので、申し込めないということでした。
- ・チューターは自身も何もわからない
- ・今のところでは必要がありませんでした。

#### 問7. 国際資料室(国際研究館 1F)の利用について

「国際資料室」を「全く利用しなかった」学生が73名いた。「たまに利用した学生」は37名であった。国際資料室チューター（大学院生が毎日、月曜日から金曜日、10時から1時、2時から5時まで常駐している）を利用しなかった学生は84名おり、よく利用した学生は4名に過ぎなかった。「全く利用しなかった」は大学院修士の学生が多い。この二つの回答から、「国際資料室」また「国際資料室チューター」の存在があまり知られていないと思われる。「国際資料室」については最初の留学生オリエンテーションでも紹介しているが、利用者はまだ少ない。また、「利用した」学生の目的は「レポートや論文の日本語の添削」が一番多く、その目的で利用した学生は大学院の博士課程学生が多い。彼らは博士論文を書く上で必要に迫られ論文の添削をチューターに頼っていると考えられる。しかしながら、Q22の満足度は「どちらともいえない」が多く、その内訳は修士の学生がもっとも多い。これは修士学生があまり利用しないという事実から、「どちらともいえない」という回答が高くなったと考えられる。ただし、簡単なことを尋ねるのは恥ずかしいという気持ちをもつ留学生もおり、そんなときにこそチューターには親切に答えてもらうことが必要になる。チューターの反省会などで改善していきたい。

Q23の「国際資料室チューター」制度をより良くするために、どんな改善が必要かという問いへの回答は、「開室時間を長くする」が最も多く、これも「留学生相談室」の場合と同じように、5限目終了後の利用を希望しているのではないと思われる。開室時間の延長に関しては、国際資料室のある国際研究館の閉館時間の問題もあり、大幅な時間延長は難しいであろう。しかし開室時間を早めることや、必要であれば午前午後の担当者の入れ替えをするなどして、現在閉室となっている午後1時から2時を開室することも考えられる。

続いて「女性のチューターを増やす」「もっと国際資料室のことを広報する」「開室期間をもっと増やす」の順で改善点が続いている。「もっと国際資料室のことを広報する」という意見に関しては「留学生相談室」同様、オリエンテーション時の紹介や「ハンドブック」への掲載にもかかわらず、存在が周知されていない現状が現れている。また、満足度に関しての設問で「どちらともいえない」を除くと、「非常に満足」「少し満足」と答えた者が、「少し不満足」「非常に不満足」と答えた者を多く上回っていることから、チューターの利用方法を含めた周知を効果的に施行することが、資料室全体への満足度に貢献できるのではないかと推測される。

Q19. 国際資料室に設置されている書籍や雑誌などの資料を入学から今までにどのくらい利用しましたか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. よく利用した	6	2	1	2	1	0
2. たまに利用した	37	8	8	14	5	2
3. 全く利用しなかった	73	21	28	8	11	5

Q20. 国際資料室チューターを入学から今までにどのくらい利用しましたか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. よく利用した	4	1	1	1	1	0
2. たまに利用した	29	9	6	9	2	3
3. 全く利用しなかった	84	22	31	15	12	4

Q21. Q20で「1.よく利用した」「2.たまに利用した」と答えた方に伺います。国際資料室チューターを利用した目的は何ですか。口の中にいくつでもチェックをつけてください。

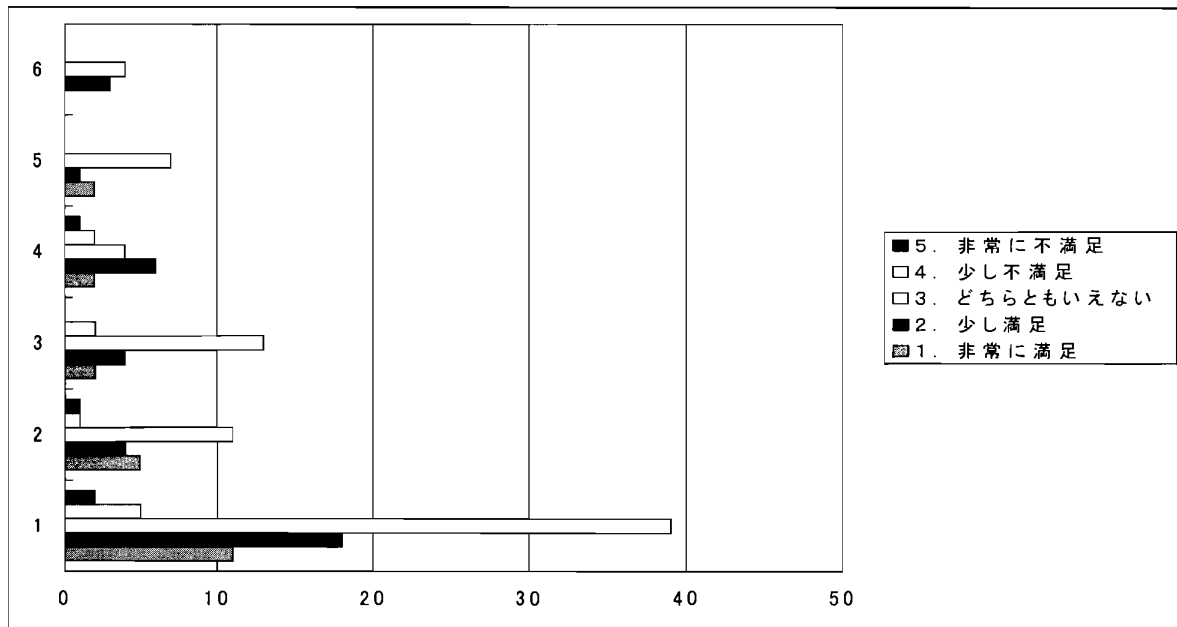
	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. レポートや論文の日本語添削	21	5	4	10	0	2
2. 授業で使用した教科書の内容解釈	5	0	1	1	3	0
3. 提出書類(奨学金の申請書類、大学院の願書や研究計画書など)の日本語の添削	8	5	1	2	0	0
4. 授業の履修方法についての質問	1	0	0	1	0	0
5. 学内・学外施設の利用についての質問	2	0	0	0	1	1
6. 大学院進学についての質問	3	0	0	2	1	0
7. 雑談や会話の練習	2	2	0	0	0	0
8. その他	0	0	0	0	0	0

「その他」の自由記述

・ ask about magazines

Q22. 国際資料室チューターにどのくらい満足していますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 非常に満足	11	5	2	2	2	0
2. 少し満足	18	4	4	6	1	3
3. どちらともいえない	39	11	13	4	7	4
4. 少し不満足	5	1	2	2	0	0
5. 非常に不満足	2	1	0	1	0	0



Q23. 国際資料室チューター制度をより良くするために、どんな改善が必要でしょうか。口の中にいくつもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 国際資料室チューターの対応をもっと親切にする	15	2	5	5	2	1
2. 開室時間(現在は、月曜日～金曜日の10時～1時、2時～5時の6時間)を多くする	27	7	8	6	4	2
3. 開室期間をもっと増やす(現在は学期開始前1週間から学期期間中、開室)	21	5	5	6	3	2
4. 各研究科からバランスよくチューターを配置する(現在は経済学研究科のチューターが不在)	20	2	9	5	3	1
5. 英語や中国語や韓国語を話せる日本人チューターを入れる	10	1	3	3	2	1
6. 女性のチューターをもっと増やす(現在は、5名いるチューターの中で女性は1名)	24	8	9	5	1	1
7. もっと国際資料室のことを広報する	22	7	8	4	2	1
8. その他	8	4	2	1	1	0

「その他」の自由記述

- ・何を指導してもらえるか、全然分からないので、あまり使用していません。
- ・チューターはアルバイトではないという意識をいまのチューターにもっと高ませて。

- a tutor which is popular among foreign students, so easier to talk to
- more active
- Well, as far as I am concern, the tutors are very kind and approachable but I have not tried asking help from them yet. Maybe if there will be very difficult assignments to do , I will try asking there help.

### 問 8. 『Bridges』(留学生センター発行の学内雑誌)について

『Bridges』を読んだことがあると回答した学生は88人(約72%)で、『Bridges』の存在は知られていると言えるだろう。満足度も「面白い」が一番多い。

『Bridges』をもっと有益にするための改善点については、意見が多岐にわたっており、一番多いのは「いろいろな国をもっと紹介する」で、特に修士の学生がこのように答えている。次は「就職に関する情報をもっとのせる」であり、学生は日本での就職に関する情報を求めていることが分かる。次に、「国際交流以外の内容をもっとのせる」、「ホームページで読めるようにする」、「斬新なデザインにする」と順に続くが、学生が求めている国際交流以外の内容とはどんなものであるかは今回の調査では不明である。今後、聞き取り調査などの実施も検討する必要があるだろう。『Bridges』をホームページで読めるようにする、ということに関しては現在検討中であり決定された際には実行に移すことができる。「斬新なデザインにする」という回答が特に修士学生に多かったが、具体的なデザイン案に関しては、聞き取り調査が必要である。また、下記の自由記述にみられるように、多言語化も視野に入れてゆきたい。本年度から年2回から1回の発行となり、ページ数も増えた関係上、学内のサークル活動紹介なども考慮できると思われる。編集会議(学生中心に編成されている)は、今回の留学生からの声に出来るだけこたえてゆけるように、スタッフにも留学生たちの更なる参加協力を仰ぎたいと思う。

### Q24. 『Bridges』を読んだことはありますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. はい	88	25	28	21	9	5
2. いいえ	32	8	10	4	8	2

### Q25. Q24. で「1. はい」と答えた方にお伺いします。『Bridges』にどのくらい満足していますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 非常に面白い	7	1	4	2	0	0
2. 面白い	44	15	13	10	3	3
3. どちらともいえない	30	7	10	7	4	2
4. あまり面白くない	7	2	2	1	2	0
5. 全然面白くない	2	1	0	1	0	0

### Q26. 『Bridges』をもっと有益なものにするために、どのような改善が必要でしょうか。□の中にくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 国際交流以外の内容をもっとのせる	37	11	15	4	4	3
2. いろいろな国をもっと紹介する	69	17	37	7	5	3
3. 斬新なデザインにする	36	9	23	1	3	0
4. 国際交流の話題にしぼる	28	5	10	10	2	1
5. 就職に関する情報をもっとのせる	40	14	17	4	2	3
6. ホームページで読めるようにする	36	9	11	9	4	3
7. その他	6	3	1	1	1	0



「その他」の自由記述

- Japanese culture should be included. English translation should be provided.
- I got the impression there are too many articles I love Japanese culture
- 「Bridges」はもっとキャンパス・ライフについて情報を載せるべきだ。一橋大学のサークルや体育会系などをもっと留学生に紹介すべきだ。今のところは全然面白くない！！デザインもちょっとダサイ。
- 各国の留学生の目からみる日本という固定アイテムを入れる。
- 自分が先輩たちとの日本語の格差がわかるようになる。
- the magazine should be bi-lingual
- some introduction of all the foreign students, so its easier to get contacted to other foreign students, and maybe about the magazine it self, the staffs etc.
- It is fantastic, I think there is no need to change anything

### 問9. 工場見学(1泊2日のバス旅行)について

工場見学については、参加したことがない学生が106名もいた。その理由は「工場見学旅行があることを知らなかった」が最も多かった。工場見学の募集は、留学生課の掲示板に張られ、また留学生課のホームページにも載せているが、募集がはられる時期が夏休み直前のため周知徹底ができないのであろう。また、参加しなかった学生の理由のうち、「時期(9月末)がよくない」、「勉強が忙しい」というのが比較的多い。これは毎年夏休み最後の週に行われるので、冬学期に備えての授業準備や夏休み中に書かなければいけないレポートなどがあり忙しいのかもしれない。また、「アルバイトを休めない」という回答もあり、休暇期間中に集中してアルバイトをする学生にとっては、参加が困難である場合もある。工場見学のお知らせも今後すみやかにホームページにて行うことになるので、これからは情報が広く行き渡るはずである。

「その他」の自由記述の中に、抽選でもれたと書いた留学生が数名いるが、ここ数年工場見学に参加希望する学生の数は減っており、抽選で当たる確立は高いはずだ。2003年度の工場見学は参加者が少ないであろうという予測のもと実施されなかった。

### Q27. あなたは工場見学に参加したことがありますか。チェックをつけてください

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. はい	14	3	2	8	1	0
2. いいえ	106	30	36	17	16	7

### Q28. Q27. で「2. いいえ」と答えた方にお伺いします。参加しなかった理由何ですか。口の中にいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 工場見学旅行があることを知らなかった	54	16	19	5	13	1
2. 時期(9月末)がよくない	21	10	5	4	0	2
3. 参加費を払うのが困難である	9	1	8	0	0	0
4. 日本探訪旅行があるので、それで十分である	2	2	0	0	0	0
5. 工場見学がつまらない	3	2	1	0	0	0
6. 家族と一緒に参加できない	8	0	2	5	1	0
7. アルバイトを休めない	7	3	3	1	0	0
8. 勉強が忙しい	18	0	11	5	2	0
9. 団体に旅行するのが好きではない	0	0	0	0	0	0
10. 留学生だけの見学は面白くない(現在、日本人学生は参加できない)	9	4	4	1	0	0
11. バスに酔うから行かない	3	1	2	0	0	0
12. その他	4	0	2	2	0	0

「その他」の自由記述

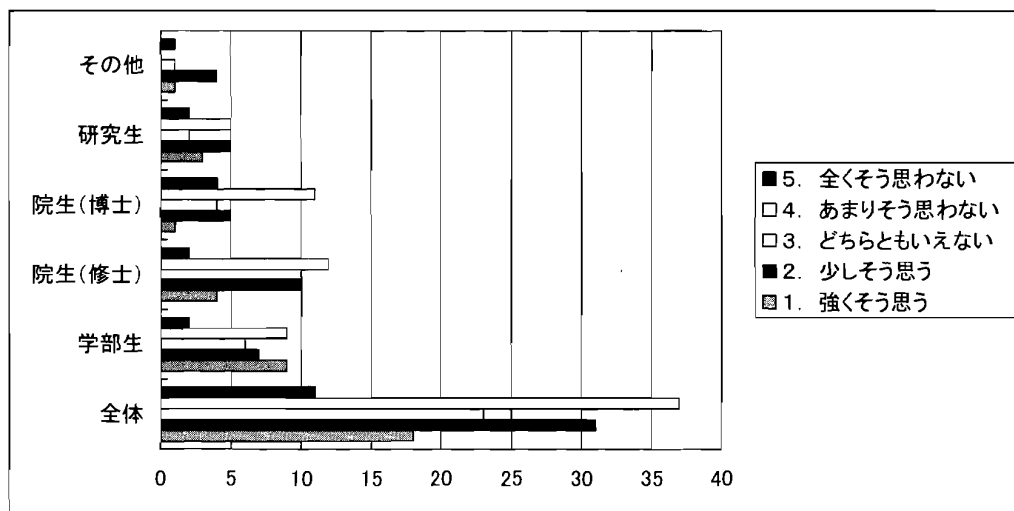
- ・ 新入生なので
- ・ そのため時間を使う気にならなかった
- ・ 申し込みをしたが、抽選で当たらなかった。
- ・ I had never the chance to go! Because this event never took place since I am here!
- ・ 4月から入学したばかりなので、バスでの工場見学旅行がなかった。
- ・ いつも落選
- ・ 応募しても当たらなかったため。

### 問10. 日本人学生との交流について

Q32の「大学は日本人学生との交流の場を提供していると思いますか」という質問に対する回答は「少しそう思う」と「あまりそう思わない」という回答にほぼ二分化された。しかし、「強くそう思う」の18名の学生を入れれば満足度は高い。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と答えた学生の回答は、Q33からもわかるように、単発的な催しや一回限りの交流プログラムなどのようなものではなく、授業やワークショップなどで長期的に深く日本人学生とつきあう、または意見を述べ合う場がほしいと考えていると思われる。

### Q29. 大学は日本人学生との交流の場を提供していると思いますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 強くそう思う	18	9	4	1	3	1
2. 少しそう思う	31	7	10	5	5	4
3. どちらともいえない	23	6	10	4	2	1
4. あまりそう思わない	37	9	12	11	5	0
5. 全くそう思わない	11	2	2	4	2	1



Q30. Q29. で「4. あまりそう思わない」「5. 全くそう思わない」と答えた方にお伺いします。大学が日本人学生との交流の場をもっと提供するためには、どのような改善が必要でしょうか。□の中になんかでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 留学生のための行事(例、日本探訪旅行、工場見学)に日本人学生も参加できるようにする	23	8	7	4	3	1
2. 留学生と日本人学生が「国際交流」や「共生」について共に考える授業を提供する	26	9	7	7	3	0
3. 留学生と日本人学生が共に地域のボランティア活動に参加するような機会を提供する	22	3	8	7	4	0
4. 留学生と日本人学生が様々なテーマで意見交換をするようなワークショップを提供する	28	8	9	7	4	0
5. 留学生と日本人学生との交流を図るために、「メーリングリスト」や「インターネット掲示板」を提供する	21	5	8	5	2	1
6. 留学生が自分の母国を紹介し、国際理解を深めるような行事を提供する	17	3	7	4	2	1
7. 日本人学生が留学生に対して日本理解を深めるような行事を提供する	23	3	9	7	3	1
8. 大学はASSISTをもっとサポートする(具体的に:)	3	1	0	1	0	1
9. その他	6	3	1	0	1	1

「その他」の自由記述

- ・日本人学生にもう少しオープンになって欲しい。
- ・ASSISTのような団体は要らない。
- ・留学生はみんなそれなりに日本人学生と交流していると思います。授業で知り合ったり、同じゼミだったり、知り合う機会が様々です。ただし、学校側がそういった交流のために何かやっているとはまったく思えないです。
- ・joint trip? eg. skiing, etc
- ・am i supposed to be a friend with japanese?
- ・join sports???
- ・留学生と日本人と一緒に行事をやったら、強制的にチームを分けないと、日本人の学生はいつも欧米人のところに固まっています。国際交流を深めるために日本人の学生と留学生と(半分半分)一緒にディベートできる授業を作ったら面白いと思います。
- ・日本人の学生は必要(外国語の勉強とか)以外に留学生との交流があまり好まないと感じる。

### 問 1 1. 地域との交流プログラムについて

ホストファミリーのプログラムを利用した学生は「ある学生」、「ない学生」にほぼ半分に分かれた。「ない学生」は修士の学生が一番多い。

Q35の「ない」と答えた学生のうち一番多い理由は「時間がない」である。そしてその内訳は修士の学生が一番多く、彼らは2年間で修士論文を書き上げなければならないため、このようなプログラムを利用する余裕がないのではないかと考えられる。しかも、アルバイトをしていればなおのこと余裕がない。「ホストファミリーのプログラムを知らなかった」と答えた学生は20名いた。このプログラムに関してもオリエンテーション時に説明し、「留学生ハンドブック」にも情報が掲載されてあるにも関わらず情報が伝わっていないことが分かった。

またQ36の回答では、「旅行などと一緒に参加したい」が一番多かった。現在用意されている日本探訪旅行や工場見学旅行などは留学生のみが参加していることもあり、日本人学生と共に参加できるプログラムの充実が望まれるところである。次には順に「同年代の人と交流したい」、「ビジネスパーソン(企業人)と交流したい」と続く。留学生が同年代の人と交流したい主な理由は、留学生の平均年齢は日本人学生の平均年齢を大きく上回っていることが考えられる。その一因として特に韓国の留学生達は軍隊経験を終えてくる学生が多く、また大学院生においては家族もいる学生がおり、日本人学生の10代後半、20代前半との交流にはジェネレーションギャップが存在するためこのような回答になったとも考えられる。企業人との交流を希望する学生は将来、日本での就職を考えている可能性があり、おそらく交流を通じて日本のビジネス社会の知識・常識を知りたいのであろう。

また下記の自由記述から分かることは、「ホストファミリープログラム」に関して、賛否両論が出ているということである。つまり、意義は認められるが、その実行に関しては、大学側が地域の方々への助言や、オリエンテーション的なセッションを持ち、どのような形の交流が可能であるかを説明してゆく必要があるように思える。またホストファミリーの紹介は確かに慎重を要することもあり、更なる地域の交流団体への理解と協力を仰がなければならないと考える。

#### Q31. あなたはホストファミリーのプログラムを利用したことがありますか。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. ある	56	17	15	9	8	7
2. ない	64	16	23	16	9	0

#### Q32. Q31. で「2. ない」と答えた方にお伺いします。「ない」理由は何ですか。口の中にいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. ホストファミリーのプログラムを知らなかった	20	4	7	6	3	0
2. やってみたいが不安の方が大きい	16	6	6	3	1	0
3. ホストファミリーのプログラムに興味がない	10	4	2	3	1	0
4. 時間がない	29	6	12	6	5	0
5. プライバシーを知られる心配がある	4	2	1	1	0	0
6. その他	3	1	2	0	0	0

Q33. どのような形で地域の人々と交流したいですか。□の中にいくつでもチェックをつけてください。

	全体	学部生	院生(修士)	院生(博士)	研究生	その他
1. 茶道(お茶)や着物など文化的なことを教えてほしい	43	10	18	9	5	1
2. ホームビジット(家庭訪問)をしたい	37	10	11	7	5	4
3. ピクニック・バーベキューなどに参加したい	40	11	10	5	10	4
4. 旅行などに一緒に参加したい	54	14	15	13	8	4
5. 自分の国の紹介が出来る場を持ちたい(学校訪問、料理紹介等)	25	6	5	4	6	4
6. ボランティア活動に参加したい	27	8	8	5	5	1
7. 日本語を教えてほしい	28	5	5	7	8	3
8. 勉強を見てもらいたい	16	3	5	4	3	1
9. 困ったとき(病気など)に助けて欲しい	27	10	4	4	4	5
10. 同年代の人と交流したい	47	13	16	10	4	4
11. ビジネスパーソン(企業人)と交流したい	47	13	13	11	6	4
12. その他	6	2	1	0	1	2

「その他」の自由記述

- ・私は利用したことがあるけど、当たったホストファミリーの方は30代の女性で、離婚していて、働きながら一人で3歳と6歳の娘二人の世話をしていた。とても気軽に邪魔できる状態ではなかった。私の友達の一人も、ホストファミリーの方が彼女よりも年が下で、ちょっと気まずかったから全然連絡しなかったと昔言っていたようです。失礼な言い方ですけど、ホストファミリーにはやはり時間的に余裕のある、少し年の取った方のほうがいいではないかと思いました。
- ・ホストファミリーに満足していない人が意外といと思います。私も半年に一回会うか、会わないかぐらいです。私の場合日本語の問題があまりなく、特に困っていないので向こうが会いたくないなら別にいいと思っています。しかし、私の次に同じホストファミリーを紹介された子が本当に可愛そうでした。日本に来たばかりで、日本語もあまりできず、右も左も何も分からないのにホストファミリーの人が一回外でお茶を飲んだぐらいで、無関心だったそうです。実際、こっちから連絡しても、「今は忙しいから今度こっちから連絡するね」と言ってそれっきりになるケースはあまりにも多いです。ホストファミリーのお母さんが子供の受験とか、家の改造で忙しいのは分かります。でもそういう人に学校側がホストファミリーをさせるのは、いかなるもののでしょうか？ただ周りの奥さん達がやっているから私もやりたいぐらいの気持ちの人を留学生に紹介しない方がいいと思います。
- ・ I applied a 1-2 weeks ago but no reply has arrived yet
- ・ it will be troublesome for me and for them I think.
- ・ 他地域にホストファミリーのご家族がいるのです。
- ・ Help from local residents in looking for a place to live would be wonderful.
- ・ I do not have any chance to interact with my host family. They are always busy organizing some mass events and do not have any time to do something only with ME. They are supposed to be MY host family, but I have not felt any special attitude towards me, I am just one of the many students to be invited to mass events.
- ・ 「地域の人々」って具体的に何を指すのか。

- ・日本人の家族はどのように生活をしているかよく分かるためにホームステイが必要だと思います。だからホームステイをしたほうがいいと思います
- ・ sports???
- ・ Normal interaction : Do not think of people as `apanese` but rather as `people`. So I have the same sort of relationship with people here that I had with people in my own country.